

研究テーマ 「共に育ち合い、豊かな心を育む指導法の工夫」

～他者との関わりを通じた協働的学習の効果的な授業実践とその評価について～

各単元、各単位時間における指導と評価の工夫例

1 単元・小単元	子どもと共に育つ (5) これからの保育環境
2 小単元の目標	乳幼児の心身の発達の特徴、乳幼児の遊びや生活習慣の形成など乳幼児の生活、それを支える親や家族、家庭生活の役割について理解させ、子どもの発達のためには親が責任をもつ必要があることなど、親や家族の保育責任について考えさせ、子どもの健やかな成長のために家族や社会の果たす役割について認識させる。
3 本例における生徒の実態	<p>学習には、前向きに取り組んでいるようであるが、自分の気持ちを表現することは苦手で、活発な意見交流ができない場面もある。おとなしく穏やかな反面、自己肯定感が低く、周囲の反応を見て傍観する生徒が多い。そのため、クラスの仲間と課題に向けてお互いの意見を交流しながら協働的に進めていくことに苦手意識をもっていると感じる。また、ワークシートの記述には自分の意見を述べて考えを深めることができるにもかかわらず、自らの意見を発表して他者と意見を交わすことができず、自己表現する力の困難さも感じている。</p> <p>保育に関するアンケートでは、「将来結婚したい、子どもが欲しい、子どもが好き、子どもと関わりたい」と答える生徒は約7割だが、「親になることを想像できない」と答える生徒も約7割おり、未来の子育ての当事者としての自覚を高めることや、社会の一員として子育てを見守ることの必要性も伝えていかななくてはならないと考える。</p>
4 育てたい資質・能力	<p>生徒の進路は進学者が多く、就職者は他県への就職は少ない。卒業後は親元を離れて自立を余儀なくされている生徒も多いが、日常生活は部活動や勉強が中心で、家族に依存しているのが現状である。自分のことが中心となり、家族の一員としての役割を担い、自立に向けての生活体験も乏しい。祖父母との同居も比較的多いが、核家族化は進んでおり、家族間での交流も少ない。生活環境の変化に伴い、「生きる力を育む」家庭科の学習として、男女が協力し合い共に生きていこうとする姿勢を育てたい。</p> <p>ここでは、将来、親や保育者となるにあたって、子どもとどのように関わっていったらよいか、考えを深めさせたい。そのためには、他者との関わりを大切にする実践的・体験的な問題解決学習を通して、子どもや子育てに関心を持ち、自分とは違う価値観を共有して視野を広げ、これからの自分のライフスタイルや考えを深めさせたい。学習によって、自分の考えの変化を感じ取り、これまでの自分の育ちを振り返るとともに、これからの自分の生き方について考えることは、未来を担う豊かな学びの創造に繋がるものであると考える。心豊かに愛情をもって子どもと育ち合うことができる態度を育てたい。</p>

【参考文献】

- 家庭総合 自立・共生・創造 (東京書籍)
- 2018生活学Navi (実教出版)
- 家庭科への参加型アクション志向学習の導入 (大修館書店)
- あんころ ～家庭科の授業案がころころ出てくる本～ (教育図書)

指導と評価の計画

【単元】子どもと共に育つ 1命を育む 2子どもの育つ力を知る 3親として共に育つ
4子どもとの触れ合いから学ぶ 5これからの保育環境

主な学習内容	ねらい	学習活動	時間	学習活動における具体的な評価規準				
				関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解	評価方法
1命を育む	胎児の発育と出産、乳幼児の心身の特徴を理解させる。	生命誕生のVTR視聴から、乳幼児の心身の特徴を知る。	1	①VTR視聴からこの学習に関心をもっている。			①乳幼児の心身の特徴について理解している。	ワークシート ポートフォリオ A'-B'-テスト
	生命誕生に対する責任について考えさせる。	胎児の発育を知り、生命誕生に対する責任について考える。	1		①生命誕生に対する責任について考えている。		②胎児の発育について理解している。	ワークシート ポートフォリオ A'-B'-テスト
	出産のメカニズムについて理解させる。	出産の経過について理解する。	1				③出産の経過について理解している。	ワークシート ポートフォリオ A'-B'-テスト
	妊婦体験から母体の健康管理について考えさせる。	妊婦体験により母体の健康管理について考える	1	②妊婦体験により母体の変化に関心をもっている。	②母体の健康管理について考えている。			ワークシート 実習態度 ポートフォリオ A'-B'-テスト
5これからの保育環境	乳幼児親子との交流を通して、子育ての意義を考えさせる。	乳幼児親子との交流から、子育ての意義を考える。	2		③子育ての意義について考えている。	①乳幼児親子との交流を積極的に行っている。		ワークシート 実習態度
	子育ての悩みや不安について知り、解決策を考えさせる。	子育ての悩みや不安について、ケース毎に解決策を考える。	1	③子育ての悩みや不安について関心をもっている。	④育児不安の解決策を考えている。			ワークシート 実習態度 ポートフォリオ
	子育て支援の内容について知りその活用方法について考えさせる。	子育て支援の内容について知りそれを活用した解決策を考える(シナリオ作り)	1		⑤育児不安に対する解決策のシナリオを考えている。		④子育て支援の内容を理解している。	ワークシート 実習態度 A'-B'-テスト
	育児不安を解消するための子育て支援策とその活用の必要性を考えさせる。	班毎にロールプレイを発表し、社会の一員として子育てを見守り支援すること必要性を考える	2	④ロールプレイを観察し、班毎に積極的に意見交流しようとしている。		②育児不安に対する解決策をロールプレイで演じている。		ワークシート 実習態度 ポートフォリオ
			⑤ロールプレイを観察し、班毎に積極的に意見交流しようとしている。	⑥育児不安を生み出さないためにはどうしたらよいか考えている。			ワークシート 実習態度 ポートフォリオ A'-B'-テスト	
2子どもの育つ力を知る	乳幼児の身体の発達の特徴を理解させる。	保育人形を利用して、身体計測等を行い、新生児の身体の特徴を理解する。	1			③保育人形でコミュニケーションをとる。(身体計測等)	⑤乳幼児の身体の発達について理解している。	ワークシート 実習態度 ポートフォリオ A'-B'-テスト
	乳幼児の発育の特徴について理解させる。	VTR視聴から乳幼児の発育の特徴について理解する。	1	⑥VTR視聴からこの学習に関心をもっている。			⑥乳幼児の発育について理解している。	ワークシート ポートフォリオ A'-B'-テスト
	乳幼児の情緒の発達について理解させる。	子どもの知的能力、情緒の発達について理解する。	1		⑦乳幼児期の情緒の発達を促すための親の関わり方を考えている。		⑦乳幼児の情緒の発達について理解している。	ワークシート ポートフォリオ A'-B'-テスト

主な学習内容	ねらい	学習活動	時間	学習活動における具体の評価規準				
				関心・意欲 ・態度	思考・判断 ・表現	技能	知識・理解	評価 方法
3親として共に 育つ	親子のコミュニケーションの重要性を理解させる。	アサーティブコミュニケーションでの言葉かけについて体験する。	1			④アサーティブコミュニケーションで子どもとの関わり方を考え表現する。		ワークシート 実習態度 ポートフォリオ バーバースト
	子どもの生活について食事の事例を通して、特徴を理解させる	乳幼児期の食生活を幼児食の実習を通して考える。	2	⑦幼児食の実習に意欲的に取り組んでいる。		⑤乳幼児の発達段階に合わせ、食べやすい調理をすることができる。		ワークシート 実習態度 ポートフォリオ
4子どもとの 触れ合いから学ぶ	遊びの役割について理解させる	子どもの発達には遊びが大きく影響することを理解する。	1		⑧児童文化財を使った子どもとの関わり方を考えている。		⑨発達に応じた遊びの種類と特徴について理解している。	ワークシート ポートフォリオ バーバースト
	子どもが喜ぶ児童文化財製作をさせる。	保育実習に向けて名前絵本制作を行う。	3	⑧名前絵本制作に意欲的に取り組んでいる。		⑥子どもが喜ぶ名前絵本制作を行い、読み聞かせをする。		ワークシート 実習態度 作品 ポートフォリオ
	子どもとのコミュニケーション方法を考えさせる。	保育実習を通して、子どもとのコミュニケーション方法を考える。	2	⑨実習に意欲的に取り組んでいる。		⑦子どもと上手にコミュニケーションをとっている。		ワークシート 実習態度 ポートフォリオ
5これからの 保育環境	子どもの人権と福祉について現状を理解させ、これからの子育て環境について考えさせる。	NIE制作から虐待や待機児童等の問題について必要な支援や子どもを守るために必要なことを考える。	2		⑩虐待や待機児童等の問題に対して必要な支援について考えている。		⑨これからの子育て環境について現状と課題を理解している。	ワークシート 実習態度 作品 ポートフォリオ バーバースト
6評価セッション	自己評価と相互評価を行い、相互成長力を高めさせる。	本分野の学びを振り返り、自己評価を相互評価を行う。	1		⑩発表者の良い点を見つけ、伝えることができる。	⑧これまでの学習を振り返り、自己の変化をまとめている。		ワークシート ポートフォリオ
総時間数			25					

学習指導案

科目名	家庭総合	使用教科書	家庭総合（東京書籍）	
単元名	子どもと共に育つ			
本時の主題	これからの保育環境（6時間目/8時間）			
指導観	育児不安の背景は、母親の知識や経験不足、社会的環境、家族機能の問題など様々だが、誰にも起こり得る解決可能な課題としてのイメージを持たせ、育児不安を解消するために、保健所等の公的支援や医療現場のサポート、民間の支援組織もあることを高校生の段階として理解しておくことは必要であると考えられる。核家族という子育てのケースについて班毎にロールプレイさせることで、親としての自覚を高め、社会の一員として子育てを見守ることの必要性に気づき、自分の生き方につなげてほしいと願う。			
本時の目標	① 育児不安を解消する方法を考える ② 社会の一員として子育てを見守ることの大切さに気づき、自分の生き方につなげて考える。			
過程	指導内容	生徒の学習活動	評価について	
導入 10分	本時の目標を確認	前時の子育て支援サービスを利用した班毎のロールプレイの静止画を視聴し、観察して感じたことを発表する。（プロジェクター利用）	前時を振り返らせ、本時の目標を確認させる。	
展開 35分	子育て支援策 ロールプレイ発表	<p>1) ケースA・B・Cについて、それぞれ1班ずつロールプレイの発表をする。 →育児不安を解消するにはどうしたらよいかを班毎に掲示用紙にまとめ発表する。</p> <p>○予想される生徒の発表</p> <ul style="list-style-type: none"> ファミリーサポートセンターを利用する。 シルバー人材センターの異世代からの育児支援。 地域の育児サービスを利用する。等 <p>○予想される生徒の反応</p> <ul style="list-style-type: none"> 積極的に支援策を活用する。 育児担当者と周囲のコミュニケーションが大切である。 起き得る問題への知識・理解が大切である。等 	<p>評価規準【関心・意欲・態度】—⑤</p> <p>子育て支援策を利用した解決の可能性に目を向けロールプレイを観察し、班毎に積極的に意見交流をしようとしている。</p> <p><評価方法> 発表の様子、観察態度 意見のまとめ</p> <p><Aの例></p> <ul style="list-style-type: none"> 班員の発表を共感的に観察し、協力し合って掲示用紙に意見をまとめようとしている。 	<p><Bを実現するための指導></p> <ul style="list-style-type: none"> ロールプレイを通して育児不安を解消するには何が大切かを考えさせる。 <p><Cへの手立て></p> <ul style="list-style-type: none"> 乳幼児親子との交流場面や交流のまとめを振り返らせる。
	育児不安の原因	<p>2) 育児不安の主な原因を整理する。 →まとめ①～⑤に記入する。</p> <p>○予想される生徒の反応</p> <ul style="list-style-type: none"> 育児経験の不足と育児情報の氾濫 出産に伴う生活の変化 精神的な落ち込み 地域からの孤立 夫婦間のコミュニケーション不足 等 	<p>評価規準【思考・判断・表現】—⑥</p> <p>育児不安を生み出さないためにはどうしたらよいかを考えている。</p> <p><評価方法> 『私の保育体験記』のまとめ</p> <p><Aの例></p> <ul style="list-style-type: none"> 子育ての当事者の立場になり、将来ありたい姿を考えている。 	<p>「第一子出産時に退職した女性の割合」のグラフをプロジェクターで映しわかりやすくする。</p> <p><Bを実現するための指導></p> <ul style="list-style-type: none"> 今の自分が具体的に持つべき意識やとるべき行動は何なのかを考えさせる。 <p><Cへの手立て></p> <ul style="list-style-type: none"> 各自が子育てしている場면을連想させる。
まとめ 5分	本時のまとめ	乳幼児親子との交流や子育て支援策のロールプレイを通して感じたことを生かしつつ、親としての自覚を高め、社会の一員として子育てを見守ることの必要性について考える。	夫婦間のコミュニケーションや地域とのつながりが大切であることも実感させた。	

工夫している点

<ul style="list-style-type: none"> 導入で前時の子育て支援サービスを利用した班毎のロールプレイの静止画を視聴することで、授業内容などを振り返らせ、より鮮明な記憶として残させる。 育児不安に対する解決策を考えるだけでなく、シナリオを考えて演じさせることで、子育ての当事者として自覚を高め、社会の一員として子育てを見守る必要性や、自分の生き方について考えるように促す。 ロールプレイ発表後のまとめとして、育児不安の主な原因を資料をもとに整理させ、育児不安を解消させるためにはどうしたらよいかを考えさせるようにした。 育児不安を生み出さないために、今の自分にできることと将来の自分にできることを考えさせ、『私の保育体験記』にまとめ発表させるようにした。
--

実践後の評価結果

	学習活動における 具体的評価規準 (B)	「十分満足できる」と 判断される状況 (A)	「努力を要する」と 判断される状況 (C)
評価	評価規準【関心・意欲・態度】一⑦ <ul style="list-style-type: none"> 班毎のロールプレイの発表を観察し、育児不安を解消するにはどうしたらよいかを、班内で話し合っている。 班で協力し合って意見をまとめようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 班毎のロールプレイの発表を共感的に観察し、育児不安を解消するにはどうしたらよいかを、班内で活発に話し合っている。 班のリーダーが中間の意見をまとめ、簡潔に掲示用紙に記入している。 	<ul style="list-style-type: none"> 班毎のロールプレイの発表を観察し、気付いたことや育児不安の原因について班内でうまく話し合いができない。
生徒の状況	<ul style="list-style-type: none"> 班毎のロールプレイの発表を観察し、育児不安を解消するにはどうしたらよいかを、班内で意見交流している。 班で協力し合って意見を掲示用紙にまとめている。 	<ul style="list-style-type: none"> 班毎のロールプレイの発表を、当事者の心境を考えながら共感的に観察している。 育児不安を解消するにはどうしたらよいかを、班のリーダーを中心に活発に意見を出し合って交流し、簡潔に掲示用紙にまとめている。 	<ul style="list-style-type: none"> 班毎のロールプレイの発表を観察し、育児不安を解消するにはどうしたらよいかを、班内でうまく意見交流できない。
発表の様子	<ul style="list-style-type: none"> 一人で抱え込まず、周囲に相談する。 積極的に子育て支援サービスを利用する。 ママ友などの相談相手をつくる。 	<ul style="list-style-type: none"> 育児に対して前向きな向上心をもち、夫婦で協力し合うことが大切。 一人で抱え込まず、周囲に相談し、子育て支援サービスを積極的に利用する。 周囲も育児に対して積極的にサポートする姿勢をとる。 	<ul style="list-style-type: none"> 班の意見をまとめて発表することができない。
	20%	80%	0%

	学習活動における 具体的評価規準 (B)	「十分満足できる」と 判断される状況 (A)	「努力を要する」と 判断される状況 (C)
評価	評価規準【思考・判断・表現】一⑥ <ul style="list-style-type: none"> 育児不安を生み出さないためにはどうしたらよいかを考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 子育ての当事者の立場や気持ちになり将来自分がやりたい姿を具体的に考えることができる。 社会の一員として地域とのつながりを大切に、子どもを見守ることの必要性に気付く。 	<ul style="list-style-type: none"> 理想とする子育てのあり方がイメージできず、自分の考えが持てない。
生徒の状況	<ul style="list-style-type: none"> 授業で学んだことから、将来自分がやりたい姿を考えることができている。 	<ul style="list-style-type: none"> 子育ての当事者の立場や気持ちになり将来自分がやりたい姿を具体的に考えることができている。 社会の一員として地域とのつながりや子どもを見守ることの大切さに触れた記述ができている。 	<ul style="list-style-type: none"> 将来自分のやりたい姿を考えることができない。
記述例	<ul style="list-style-type: none"> 育児に関する知識を身に付ける。 授業で学んだことを生かし、周囲に相談し、子育て支援サービスを利用する。 子育ての相談相手をつくる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分が育児に悩んだときは、周囲に相談し、子育て支援サービスを積極的に利用したい。また周りで、育児不安を抱えている人の手助けができればよい。 社会全体が育児に対してサポートできる環境を整え、働きやすい雰囲気をつくる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えが記述できていない。
	32%	68%	0%

授業後の課題と改善

<ul style="list-style-type: none"> ロールプレイの発表を代表3班に行ってもらったが、予想以上に生徒が生き生きと発表してくれたので、授業に活気が出た。その分グループ交流の時間を縮小することになった。 ロールプレイ発表とグループ交流だけで終わらず、資料のデータから読み取り、育児不安を生み出す原因を最後にまとめ、将来の自分の生き方につなげることができた。 内容が盛りだくさんで、時間的に最後のまとめが不十分になり、次時に補足することになったが、ポートフォリオ「私の保育体験記」の意見を最後に生徒が発表することができたのでよかった。
